

## 住吉市民病院廃止問題

# 病床再編計画は見直しを

大阪市民議会  
民生保健委  
尾上市議が質問

大阪市立住吉市民病院(同市住之江区)の廃止(今年3月末)後の病床再編計画を審議する大阪市民議会民生保健委員会が1月29日開かれ、日本共産党の尾上康雄議員が質問に立ちました。



尾上康雄市議

住吉市民病院の廃止後に市が誘致しようとした民間病院が昨年5月に辞退を表明したの続き、

さらに跡地に大阪市大病院が運営する新病院が

8床のうち、府市共同母

6年後に開設するまでの

間、産婦人科と小児科の外來のみの診療所で「暫定診療」を実施。新病院

ねられています。尾上氏は診療所は小児科週5回、産婦人科週2回しかなく、「これで南

部医療圏で不足する小児科センターへ移す97床以上の101床は不足する

長は、「このままでは4月以降、患者さんの行き場が失われる」とし、出

も残すことを求める陳情署名を呼び掛けました。署名を呼び掛けました。意見交流で、2人の子

障害があり、体調を崩せ

## 入院・出産できる公的病院残せ

### 病院再編計画 市民の会が緊急集会

大阪市の新たな「住吉市民病院廃止に伴う病院再編計画(案)」について、同日開催された「大阪市民の会」が1月24日、大阪市住之江区内で緊急報告集会を開催。日

の議論にも触れ報告しました。尾上議員は、計画では、住吉市民病院の19

患者さんの行き場失われる

「病院再編計画」は、大阪市民議会民生保健委員会(2月26日)で議論される予定です。市民の会では、審議会委員らに、市民病院を利用してきた患者などの思いや実態を伝え、再編計画の見直しを求める予定です。

同会の辻井大介事務局



緊急に開かれた住吉市民病院問題報告集会

＝1月24日、大阪市住之江区内